

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和元年 8 月 27 日	担当部署	産業観光交流部 産業政策課
-------	---------------	------	---------------

※以下は平成 31 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	有限会社 やまざくら				
代表者名	取締役 岩野 虎治				
	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
	所在地 新潟県上越市大島区大平 3874 番地 1				
設立年月日	平成 9 年 7 月 14 日	資本金	11,600 千円	市出資割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営、米穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水及び日用雑貨の販売、惣菜の製造販売等の事業を行うため。				

3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	—	—	0	0			
	非常勤	1	1	2	2			
	計	1	1	2	2			
職員	正職員	—	—	2	2			
	臨時職員	—	—	0	0			
	パート職員等	—	—	4	4			
	計	—	—	6	6			

4 主な事業

(1) 大島やまざくらの管理運営
(2) 大島やまざくらの経営（米穀類、農産物、花卉、食料品、日用品雑貨及び酒類、たばこの販売）
(3) 惣菜の製造販売
(4)
(5)
(6)
(7)

5 事業実績（概要）

- ・ 第22期（平成30年度）の営業収益（売上高）は、前期と比較して1,531千円増（2.4%の増）の64,130千円となりました。店舗部門では、冬期間の天候が穏やかであったなどにより利用客数が増加したことや、移動販売部門においても、利用客数が微増したことに加え、一人当たりの購入単価も増加したことで、全体としての営業収益が増加しました。
- ・ 営業費用のうち売上原価では、営業収益が増加したことなどにより、前期と比較して1,147千円増（2.5%の増）の46,429千円となりました。また、一般管理費・販売費では、従業員給与が増加したことなどにより、前期と比較して802千円増（5.2%の増）の16,025千円となりました。
- ・ この結果、最終的な当期純利益は1,917千円となり、5期連続の単年度黒字を達成しました。これにより、当期末の累積欠損金は104千円に改善されました。

【第22期（平成30年度）の営業概要】

- ・ 店舗への誘導効果を見込み、駐車場入口（国道253号線沿い）にLED看板を設置しました。
- ・ POSレジを活用して経費削減に取り組んだほか、従業員が店舗の計数情報を把握することにより、経費削減や売上増加に向けた意識付けを行いました。

【営業収益（売上高）の実績】

（単位：千円）

部門	第20期 （平成28年度）	第21期 （平成29年度）	第22期 （平成30年度）
店舗	51,857	48,388	48,953
移動販売	8,395	10,274	10,812
指定管理料	3,558	3,937	4,365
合計	63,810	62,599	64,130
うち自主事業※	1,230	2,313	3,132

【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	区分	第20期 （平成28年度）	第21期 （平成29年度）	第22期 （平成30年度）
店舗	目標	56,000	55,000	54,000
	実績	46,568	42,496	43,213
移動販売	目標	3,100	3,100	3,100
	実績	5,001	5,600	5,641
合計	目標	59,100	58,100	57,100
	実績	51,569	48,096	48,854
うち自主事業※	実績	831	1,422	1,446

※ 浦川原区内の移動販売（平成28年9月から実施）

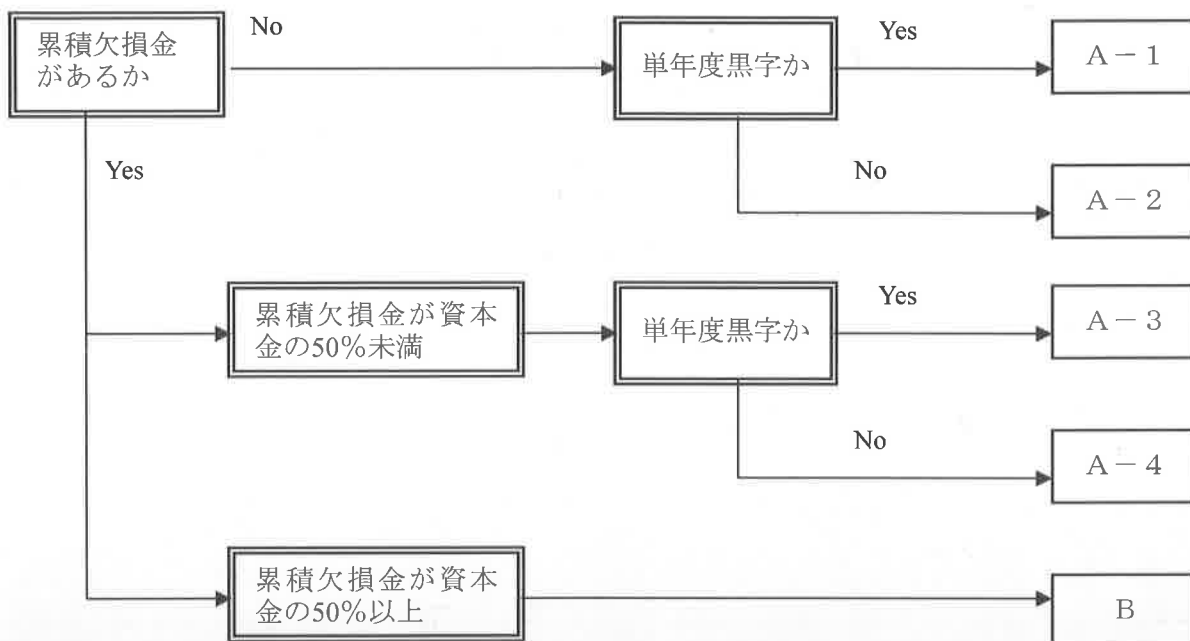
6 財務状況

(単位：千円)

項目	第20期	第21期	第22期	備考	
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日		
損益計算書	営業収益（売上高）	63,810	62,599	64,130	
	営業費用	61,970	60,505	62,454	
	売上原価	47,075	45,282	46,429	
	一般管理費・販売費	14,895	15,223	16,025	
	営業利益	1,840	2,094	1,676	
	営業外収益	912	899	896	
	営業外費用	50	37	27	
	経常利益	2,702	2,956	2,545	
	特別利益	0	0	1	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期利益	2,702	2,956	2,546	
	法人税等	180	834	629	
	当期利益	2,522	2,122	1,917	
項目	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	備考	
貸借対照表	資産	12,985	16,245	16,133	
	負債	5,528	6,666	4,637	
	純資産	7,457	9,579	11,496	
	資本金	11,600	11,600	11,600	
	剰余金・欠損金	△4,143	△2,021	△104	
その他	0	0	0		

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-3
----	-----

	評価基準	備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

当期末の累積欠損金は104千円であり、資本金11,600千円に対する比率は0.9%となっています。当期を含めて5期連続して単年度黒字を確保しており、改善傾向にあります。尚、残存する累積欠損金104千円については翌期で解消される見込みです。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
①	大島やまざくら指定管理料	3,843	4,252	4,714	
②	大島ゆきわり荘 施設維持管理業務委託料	454	454	454	
③					
④					
⑤					
計		4,297	4,706	5,168	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（ ）	0	0	0	
計		0	0	0	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

第 23 期は、売上高 63,676 千円、当期純利益 322 千円の計上を目標に掲げ、更なる経営健全化に向けて、次の取組を行います。

1 店舗部門

- ・ 店舗利用者数減少に伴う売上減少対策として、利用者の要望に対応するとともに各仕入先と連携強化することで品揃えを充実させ、売上と利用者数の増加に努めます。
- ・ POS レジの活用により、在庫管理の適正化に努め、廃棄商品を削減するなど収益性の向上を図ります。

2 移動販売部門

- ・ 販売路線の見直しを行うなど、地域利用者の要望にあった内容への改善に努め、売上と収益性の向上を図ります。

【売上目標】

(税抜、単位：千円)

	店舗	移動販売	市からの委託料等	合計
第 23 期 (令和元年度)	49,100	11,040	3,536	63,676

(2) 中長期経営計画

なし

第 22 期

事 業 報 告 書

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

目 次
貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書

住 所 上越市大島区大平3874番地1

会社名 有限会社 やまざくら

代表社名 代表取締役 岩 野 虎 治

第22期有限会社やまざくら事業報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

総括

日本経済は、政府の発表によれば、僅かではあるが景気が持続しているといわれる一方で、一般の皆さんには実感がないというような報道もあり、複雑な年であったと思われる。

また食品業界は人手不足や原材料の値上げ等で、食料品等の競争が激化するなど食料品販売業界にとっては厳しい年でありました。

さて、当(有)やまざくらスーパーを取り巻く環境は、依然として人口減少が加速し高齢者の比率は50%というような大島区の実態であります。しかも店舗への買い物弱者といわれる皆様は、悪天候時には買い出しを控え、特に賞味期限の短い生鮮食料商品等の値引きや廃品等が発生したことにより売上総利益が低下したと分析しているところであります。

このような現状の中で、上越市第三セクターの理念に基づいて住民に安全・安心な生鮮食品の販売を行うことにより、買い物弱者の方々への配慮に努めた。さらに移動販売車きめ細やかな巡回を行ったことにより地域の方々から喜ばれ、利用者数と売上げが増となり、経常利益は計画以上を達成することができた。

したがって今期の売上総額は、64,130千円(計画比95%)、経常利益は2,545千円(計画比116%)となり、当期利益に対する法人税他629千円を納税し、税引き後の当期純利益は1,917千円となった。残念ながら、繰越欠損金104千円が次年度以降となったことに、株主様に深くお詫び申し上げます。

以下部門の決算状況について報告いたします。

1. 店舗部門

店舗販売利用者数は、43,213人(前期比101.7%)、売上48,953円(前期比101.7%)となったが、売上総利益は10,460千円(前期比95.8%)となり、経常利益は△2,886千円の赤字であった。

そのような中でPOSレジシステムの活用による商品仕入れの適正化に努めた。しかし、異常気象時による値引きや廃棄品等の発生が売上総利益低下を招いたものと捉え、従業員一丸となって点検し収益増を図りたいと考えていますことにご理解を賜ります。

2. 移動販売部門

浦川原区内の一部地区で引き続きしこ販売が継続したこともあり、利用者数は延べ5,641人(前期比100.7%)、売上も10,812千円(前期比105.2%)の実績となり、経常利益197千円を確保することができました。

第 2 2 期

決 算 報 告 書

平成 3 0 年 4 月 1 日から

平成 3 1 年 3 月 3 1 日まで

4

有 限 会 社 や ま ざ く ら
(法人番号:2110002022905)

損益計算書

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上高	64,130,540	64,130,540	64,130,540
II 売上原価	46,436,174	2,096,512	
前期売上高		46,436,174	
期末売上高		48,532,686	
売上総利益		2,103,962	46,428,724
III 販売費及び一般管理費		16,025,447	16,025,447
営業利益			1,676,369
IV 営業外収益		65	
受取配当		67	
雑収入		896,316	896,448
V 営業外費用		22,585	
支払損		5,000	27,585
経常利益			2,545,232
VI 特別利益		562	562
貸倒引当金戻入			
VII 特別損失		0	0
税引前当期純利益			2,545,794
法人税、住民税及び事業税		628,921	628,921
当期純利益			1,916,873

株主資本等変動計算書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月 31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		11,600,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>11,600,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		-2,021,215
	当期変動額		
	当期純利益	1,916,873	1,916,873
	当期末残高		<u>-104,342</u>
その他利益剰余金合計	当期首残高		-2,021,215
	当期変動額		
	当期純利益	1,916,873	1,916,873
	当期末残高		<u>-104,342</u>
株主資本合計	当期首残高		9,578,785
	当期変動額		
	当期純利益	1,916,873	1,916,873
	当期末残高		<u>11,495,658</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		9,578,785
	当期変動額		
	当期純利益	1,916,873	1,916,873
	当期末残高		<u>11,495,658</u>

個別注記表

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月 31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却方法
 - (1)有形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しております。
ただし、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。
 - (2)無形固定資産
定額法を採用しております。
ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
 - (3)長期前払費用
期間均等償却を採用しております。
3. 引当金の計上基準
 - (1)貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要項目
 - (1)リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
なお、未経過リース料総額は、717,120円であります。
5. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 9,020,109円 |
|-------------------|------------|

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

- | | |
|------------|------|
| 1. 発行済株式総数 | 232株 |
|------------|------|

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、49,550.25円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、8,262.38円であります。

以上

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売費	3,926
広告費	78,766
発送料	19,898
支払手数料	1,647,678
役員報酬	595,000
給料	4,825,665
雑費	2,744,988
法厚減価償却	706,328
修理費	203,999
事務用品	16,929
水道料	1,186,579
税金	104,661
待合費	142,166
品消費	161,469
環境衛生	2,311,880
雑費	63,200
諸会費	5,300
衛生費	4,630
雑費	45,820
雑費	310,249
雑費	353,991
雑費	96,500
雑費	2,451
雑費	335,446
雑費	57,928
合計	16,025,447

たな卸資産の計算内訳

平成31年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商品	2,103,962
貯蔵材料	80,148
合計	2,184,110

第 23 期
事業計画書 (案)

平成 31 年 4月 1 日から
令和 2 年 3月 31日まで

目 次

貸借対照表

損益計算書

住所 新潟県上越市大島区大平3874番地 1

会社名 有限会社 やまざくら

代表社名 代表取締役 岩野虎治

第23期有限会社やまざくら事業計画書（案）

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

政府は日本経済の取巻く経済環境は人口が減少していく中で、日本経済をはじめ、企業の持続的成長を図るためには、労働力確保が極めて厳しいことから「働き方改革」を掲げ、労働環境の改善を図ると同時に外国人による人手不足解消を図る一方、10月からの消費税10%導入を実施するという益々先行き不透明な年といっても過言でない。

食料品販売業界においても同様に従業員確保が厳しい現実において、営業時間の見直しや待遇改善が急務といわれる中で、超高齢者社会における買い物弱者への対応が進められている。当（有）やまざくらスーパーにおいては、大島区の人口減少は加速する一方で、益々地域の超高齢者が増加し店舗への買い物客が減少し売上げ減も比例し、店舗経営は非常に厳しい状況下にある。

このような状況下において、（有）やまざくらスーパーは第三セクターとしての理念に基づき大島区民の日常生活で必須である食料品の販売を通して、大島区の住民をより豊かにする「暮らしの交流拠点」の店舗として、お客様のニーズに対応した品揃えを行うなど売上げ増に努める。また、移動販売車を運行している地域においては、利用者数及び売上げが年々増加傾向にあることから、さらに地域の皆様との意見交換を実施するなど地域利用者ニーズにあった改善に努めることで、売上げと収益の安定化を図る。

さらに試行販売として旭地域に商店がないことから旭郵便局と協力し合い菓子類や飲料水、即席ラーメン等の販売を行う。

一方販売管理費については、再建計画が達成したことにより人件費の見直し、その他経費については各仕入先との連携による商品のPOSレジシステムの有効活用による的確な作業効率を図ることによって、商品仕入れや在庫管理の適正化をさらに進め、廃棄商品等の削減に努める。

数値目標として23期の総売上げは、店舗と移動販売で前期決算比375千円増の6,0149千円、指定管理費は△829千円の3,536千円により63,676千円。経常利益460千円、純利益（税引き後利益）322千円を掲げ、上越市の指定管理委託を遵守し、役職員一丸となり事業計画以上の利益確保に努める。

記

1. 店舗部門

- ・ 区内の人口減少の中、店舗利用者売上減少対策として、品揃えの充実を図ることによって従来に増して各仕入先と密接な連携強化に努めると同時に、利用者ニーズに対応に努め、売上増に努める
- ・ POSレジシステムの有効活用による的確な作業効率を図ることで、商品仕入れや在庫管理の適正化を進め、廃棄商品の削減に努め、利益率の向上を図る。

2. 移動販売部門

- ・ 移動販売車をさらに利用者要望に対応するため、販売路線の見直しを図るなど地域利用者ニーズにあった内容改善に努め、売上げと収益確保を図る。

平成31年有限会社やまざくら事業計画書(案)

(単位:千円)

科 目	総合収入	委託料	店舗部門	移動販売	摘 要
売上①	60,140		49,100	11,040	店舗360日×136千円=49,100千円 移動販売 240日×46千円=11,040千円
その他売上②	3,536	3,536			
総売上③(①+②)	63,676	3,536	49,100	11,040	
原価④	46,173	0	38,003	8,170	店舗77.4%移動7.4%
粗利益⑤(③-④)	17,503	3,536	11,097	2,870	
役員報酬	1,110		1,110		社長90千円×10ヶ月=900千円 45千円×2ヶ月=90千円合計990千円 監事 120千円
職員	5,006		5,006		職員157千円×2人×12ヶ月=3,768千円手当2人×4000円×12=96千円 賞与3月×157千円×2人=942千円残業200千円
パート	3,320	240	1,400	1,680	店舗 2人1,400千円 移動140千円×12月=1,680千円
法定福利費	760		760		店舗健康保険2人268千円厚生保険2人467千円雇用保険19千円パート6千円
厚生費	120		120		店舗中退共120千円
人件費計⑥	10,316	240	8,396	1,680	
旅費	30		30		店舗30千円
広告宣伝費	72		60	12	店舗60千円 移動12千円
容器包装費	25		15	10	店舗15千円 移動10千円
発送配達費	20		20		店舗20千円
リース	1,069		402	667	店舗POSレジ300千円ZPC42千円HTT60千円 移動軽自動車667千円
支払手数料	1,649		1,649	0	店舗運賃仕入80%千円×1.7%=519千円指導費300千円組合費60千円税理費710千円保険事務60千円
減価償却費	100		100	0	店舗100千円
地代家賃	0		0	0	
修繕費	200		100	100	店舗100千円 移動100千円
事務用消耗費	110		100	10	店舗100千円 移10千円
通信交通費	160		150	10	店舗150千円 移動10千円
水道光熱費	2,304		2,304		店舗電気料190千円×12ヶ月=2,280千円ガス24千円
租税公課	180		180		店舗180千円
接待交際費	10		10		店舗10千円
保険料	121		33	88	店舗火災保険33千円 移動自動車保険88千円
備品消耗品費	320		300	20	店舗300千円 移動20千円
車両費	360		120	240	店舗120千円 移動240千円(車検外)
諸会費	102		100	2	店舗組合費60千円商工会費40千円 移動2千円
環境衛生費	408		408	0	店舗浄化槽84千円廃棄物処理費18千円×12ヶ月=216千円 清掃108千円
雑費	214		194	20	店舗除雪費ほか150千円有線放送44千円 移動販売20千円
販売管理費計⑦	7,454		6,275	1,179	
小計⑧	17,770	240	14,671	2,859	
営業損益⑨(⑧-⑧)	267	3,296	3,574	11	
	750		750		
雑収入	750	0	750		原発助成108千円自動販売機200千円ゆきわり荘420千円その他22千円
受取利息	0	0	0		
営業外費用⑩	-23	0	-23		
支払利息	-23	0	-23		
経常損益⑪(⑨+⑩-⑪)	460	3,296	2,847	11	
法人税等⑫	-138				
純利益⑬(⑫-⑬)	322				